

女川町の復興のシンボルとして「きぼうの鐘」を贈呈

恵比寿麦酒祭りで販売した生ビール売上金より活用

サッポロホールディングス（株）は、（一社）女川町観光協会へ3基目の「きぼうの鐘」（注1）を贈呈しました。観光客で賑わう女川駅前プロムナード沿いハマテラス向かいに設置した1基目、女川町役場東日本大震災慰霊碑側に設置した2基目に続き、3基目は女川湾を一望する女川町離島航路ターミナル脇に設置します。新しい町づくりが進む女川町の復興の象徴として、地域のみなさまの心のよりどころとなることを願っています。

今回の贈呈は、サッポログループが恵比寿ガーデンプレイス（東京都渋谷区）で開催した「恵比寿麦酒祭り（えびすビールまつり）」で販売した生ビールの売上金より活用したものです。

サッポログループは、今後も東北復興支援の重点テーマとして「物産品の消費促進」、「情報発信」、「次世代育成」の3点を掲げ取り組んでいきます。

（注1）「きぼうの鐘」

旧女川駅舎に、設置されたカリヨン（からくり時計）には4つの鐘がついており、電車の発着を告げ、人々に親しまれていました。震災後のガレキの山から、女川駅にあったカリヨンの鐘が奇跡的に1つだけ完全な状態で見つかったことから、仮設商店街のシンボルとして展示され、商店街の名称になりました。

記

1. 贈呈品

きぼうの鐘

2. 贈呈先

（一社）女川町観光協会

3. 贈呈式

日程：2020年10月26日（月）

会場：宮城県牡鹿郡女川町海岸通り7番地の1

女川町離島航路ターミナル 「きぼうの鐘」前



きぼうの鐘

（女川町離島航路ターミナル脇 設置）



贈呈式

女川町長 須田 善明様（右から4人目）
女川町観光協会会長 持田 耕明様（右から5人目）
サッポロビール 東北本部長 吉見 卓也（右から6人目）
（画像提供 女川町）

以上